



## 大学図書館の居心地



池田 真

学事センター長  
文学部教授

IKEDA, Makoto

図書館という場が好きだ。図書館といっても、街中の図書館ではなく、大学の研究図書館である。これまでの研究生活を振り返ると、イギリスを中心に、アメリカ、アイルランド、フィンランド、スウェーデン、オーストリアなど、欧米各国の数十の大学図書館を利用してきた。ここで言う利用とは、純粹に研究目的のものである。その図書館だけが所蔵する稀覯書や書簡を閲覧・複写したり、国内やネットでは入手困難な研究書を参照することもあれば、収集した資料を読み込んだり、論文や書籍の構想を練ったり、実際の執筆をしたりする。滞在は数時間のこともあれば、留学やサバティカルの際には年単位となることもあった。その経験を通して気づいたのは、図書館によって居心地のよさが異なるということである。その心地よさは、いるだけでなんだか楽しい、やる気が沸々と湧くといった心情的なものであったり、作業がどんどんはかどる、アイデアが次々に浮かぶような知的快感であったりする。私の場合、そのような境地に達するのは、次の3つの条件が満たされた時である。

1つめは採光である。自然光だと文字が読みやすく、周囲との明暗の差も少ないので、長時間の作業でも疲れにくい。大きな窓の高い位置からの光や、天井から降り注ぐトップライトだと、本やノートが明るく均一に照らされて影もできない。2つめは借景である。窓の外に木や芝などの緑が見えると、目の休息になり、自然とのつながりも感じられる。大きな落葉樹があり、四季の移り変わりが目に飛び込んでくるとなおい。3つめは空間である。天井が高く、室内の全体が見渡せる造りだと、安心感が生まれ、思考が解き放たれる。この他、閲覧用の机はデスクトップが木製でパソコンの両側と奥側に資料を広げられるスペースがあるとか、椅子は見た目が美しく長く座っていて疲れにくいものであるとか、隣接するカフェがあって

気分転換がしやすいといった要素があれば、言うことはない。

では、そのような条件を全て満たす大学図書館はあるのかというと、実はない。理想に近かったのは、大学図書館ではないが、ロンドンの大英博物館に併設されていた旧大英図書館の円形閲覧室である。外の景色は見えなかったが、体育館ほどの丸い空間が広がっており、天井はドーム型で、高い位置にある窓から光が降り注いでいた。そこはかのマルクスが『資本論』を書いた場所として知られていたが、新大英図書館の誕生と共に1997年に姿を消してしまった。現在のお気に入りには、かつて数年を過ごしたロンドン大学キングズカレッジのモーン図書館である。元来は大英帝国の公文書館として建てられた荘厳な建物であるが、その中に旧大英図書館の円形閲覧室を模した部屋がある。オリジナルと比べると小規模ではあるが、弧を描く木製のテーブルが広がり、高い天井は同じくドーム型で、てっぺんにガラスが埋め込まれているので、空からの光が垂直に降りてくる。時おり上を見上げると、神から知を授けられているかのような錯覚にとらわれる。

翻って本学の中央図書館はどうかというと、私の知るイギリスの名門大学の各図書館と比べても、居心地のよさでは負けていない。いや、もしかしたら上の方なのではないかと思う。何といても内装のセンスがいい。壁は木目調が多く、床には明るい色のタイルカーペットが敷き詰められている。閲覧席の数と種類も多い。北側の書庫の中にある席で、本の香りを嗅ぎながら、SJハウスの庭を見下ろしつつ読書するもよし、地下2階の吹き抜け階段付近で、広々とした空間を感じながら、デザイン性の高い椅子に座って丸テーブルに資料を広げるもよし、現代性と機能性を感じさせるラーニングコモンズで友達とプロジェクトを進めるのもよい。疲れたら学生ラウンジで一服できる(ここはもう一工夫欲しいところだが…)

図書館の居心地は人によって違う。まずは中央図書館の全ての階をくまなく歩き回ってみよう。きっと、今までは知らなかった発見があり、お気に入りの場所が増えるはずである。上智大学の中央図書館には、本だけでなく頭と心に快適な空間が詰まっている。

# 教えて!

# ソフィアンくん

## 第22回



## みんなに知ってほしいこと～利用者アンケートの結果を踏まえて～

図書館では、2023年10月2日(月)～30日(月)の期間、利用者アンケートを実施しました。ご協力いただいたみなさん、ありがとうございました!

寄せられたご意見の中で、残念ながらみなさんに知られていないことが、たくさんあることに気づきました。そこで今回は、ソフィアンくんと一緒に確認していきましょう!



蓋つきの飲み物の持ち込みを許可してください。

図書館では、マイボトルやペットボトルなど、蓋つき(密閉できる)容器の持ち込みは許可しているよ。ただし、紙コップに蓋がついた容器(飲み口部分に穴の開いたコーヒーのカップなど)や缶など、密閉できない容器は許可していないんだ。最近、飲み物をこぼして、資料を弁償するケースが増えているから、密閉容器限定は守ってほしいな。



図書館では、食事は禁止しているよ。資料の劣化を防ぐだけでなく、利用環境にも影響するんだ。「飴の包み紙を開ける音がうるさい」「食べ物のにおいが気になる」「ごみが机の上に置いたままになっている」という声が多く寄せられているよ。あの嫌な黒い虫を見ることがないように、ぜひ協力してね!

飴などのちょっとした食べ物は許可してもらえませんか。



閲覧席の蛍光灯が点きません。

電源コンセントも増やしてほしいです!

閲覧席の蛍光灯が点かない理由のほとんどが、そのコンセントが抜けていることが原因なんだ。コンセントは抜かないようにしてね。図書館の2～5階は電源コンセント設置フロアだよ。知っていたかな?調査したところ、試験前の今年1月の電源コンセント付き閲覧席の使用率は3割ほどだったから、まだまだ余裕があるね。お気に入りのフロアがあるかもしれないけれど、2～5階の利用も検討してみてね。



残念ながら「蛍の光」は流していないけれど、閉館15分前と2分前にアナウンスを流しているよ。「蛍の光」が流れたほうが、帰宅モードに切り替わるのかな。

閉館するとき、「蛍の光」を流してほしいわ。





図書を探すのが  
難しいです。  
配架順の説明資料が  
あるといいな。

図書を探すための請求記号の見方や資料の配架については、図書館で発行している『情報検索スタートブック』や『図書館だより』でも紹介しているよ。ぜひ参考にしてみよう！それでも解決しないときには、図書館入って右側のレファレンスカウンターに相談してみよう。



『情報検索スタートブック』と『図書館だより』は図書館で配布している(レファレンスカウンターなど)けれど、HPでも公開しているよ。各種動画も公開しているので、見てみてね!

【図書館動画&『情報検索スタートブック』】  
動画は「図書館を知る(資料編)」、  
情報検索スタートブックは2024年版  
Part.1のPP.8-14が役に立つよ!



【図書館だよりNo.25】  
「教えて!ソフィアンくん」のコーナーで、  
請求記号やサインの見方、本の並び方  
について説明しているよ!



図書館の  
利用方法や  
ルールが  
わかりません。



利用案内

図書館の利用案内は、図書館HPで確認できるよ。レファレンスカウンター横のラックにもあるので、チェックしてみよう。



電子資料  
(電子ブック・電子ジャーナル)  
のアクセス先が  
一目でわかるように  
してほしいです。

OPACでも電子資料の検索ができるけれど、OPAC TOPページのバーに表示される『e-Resources Access Page』や図書館OPAC>外部リンクにある『Let's Start eBook』を利用すると便利だよ!



Let's Start eBook



e-Resources Access Page



OPAC TOPページ「上智大学」のタブ以外に4つのタブがあるのを知っているかな?『Sophia Search』からは論文名でも検索ができるんだよ。試してみよう!

論文名で  
検索できるように  
してほしいです。



I would like you to  
make an English version of  
the library introduction  
video!

English version is also available.  
Please take a look!

English Version Video



レファレンス  
カウンターって  
何をするとところ？



資料探しのお手伝いはもちろん、他大学図書館への紹介状の発行など、図書に関することで皆さんが困っていることを一緒に解決してくれるところだよ。「こんなこと聞いてもいいのかな…」なんて心配は不要。困ったときには、ぜひ相談してみよう！2024年版情報検索スタートブックP.81の「豆知識：レファレンスカウンターとは」をチェックしてみてね！

【図書館HP・レファレンスサービス】



電子ブックを全部、  
ダウンロード可能に  
してほしい！

図書館がみんなに提供している電子資料(電子ブック・電子ジャーナル)には、資料ごとに全文ダウンロード可・不可などの利用規約が定められているんだ。最近では、パソコンの機能によって、意図せず大量ダウンロードとみなされ、提供元より注意勧告を受けるケースもあったんだ。電子資料利用時の注意事項については、「OPAC>データベースを探索」の冒頭でも案内しているから確認してみよう！



【電子資料の利用について】

このほか、「話し声が気になる」「試験前に荷物を置いて場所取りをする人がいる」「グループ学習室の予約時間を過ぎてても退出しない人がいる」「必要な人がエレベーターに乗れないのに配慮がない」など、利用者マナーに関する声が多く寄せられたよ。みんなが利用する図書館。思いやりの心をもって、気持ちよく使ってもらえたら嬉しいな。今回のアンケートでは、改善が必要な意見も寄せられたから、今後できるところから着手していく予定。楽しみに待っていてね!!



## 図書館ツアー開催!

参加者には  
記念品も!

以下の日程で図書館ツアーを行います

2024年4月8日(月)～10日(水)

① 10:30～ ② 12:30～ ③ 15:00～

各回30分程度、予約不要



図書館ツアーを開催いたします。参加希望者は開始5分前に1階レファレンスカウンター前に集合して下さい。ツアーに参加すると図書館のことがよくわかるようになります。皆様のご参加をお待ちしております!

参加できない方や事前に調べておきたい方は  
図書館のホームページをチェック!



# 学生希望図書リクエストを利用しよう!

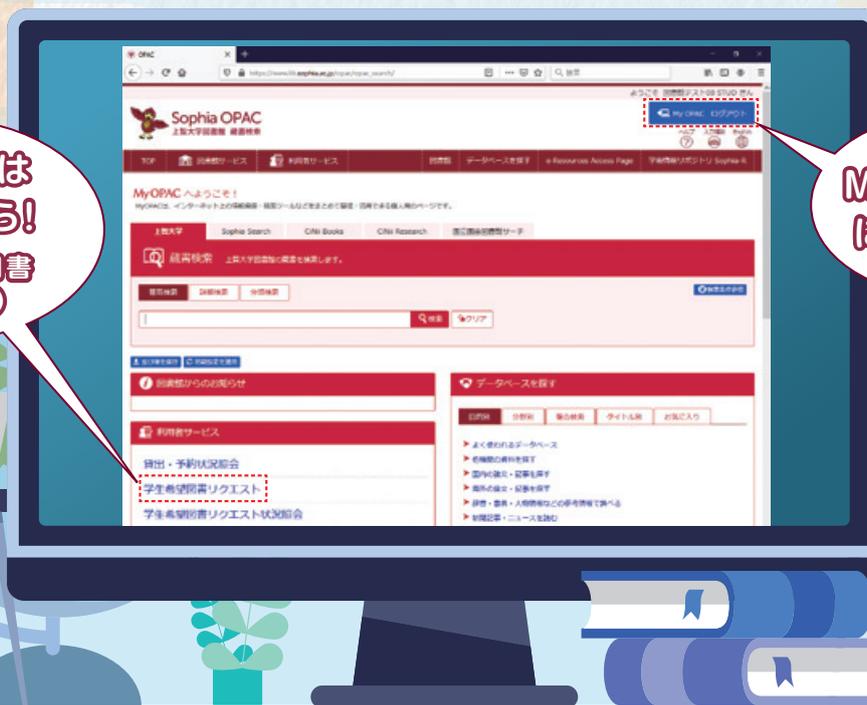
学習・研究に必要な資料が図書館にない場合はMyOPACからリクエストすることができます\*。

\* リクエストされた資料は、図書館の蔵書とすることで学習・研究に広く利用されるかを検討のうえ、購入可否を決定します。購入をお約束するものではありません。



申し込みは  
こちらから!  
(学生希望図書  
リクエスト)

My OPAC  
にログイン



- ★購入を希望する資料情報(タイトル・出版社・ISBN・出版年など)をできる限り正確に入力してください。
- ★優先貸出を選択すると、図書が利用可能になった際に予約取置になり、メールで通知されます。
- ★「入手可能であれば電子ブックを希望する」を選択すると、機関向け電子ブックが優先して購入されます。



## 希望理由について

専門書・研究書として、その資料でなければならない理由を具体的に入力してください。

※「授業で必要だから」「卒論・研究のため」では、受け付けることができません。

### 入力例

～分野の研究資料は図書館ではxxxx年代までしか所蔵しておらず、最新の研究成果が反映されている資料であるため購入を希望する。

～分野の研究資料として、この資料は○○という点でほかの資料やすでに所蔵されている資料より優れているため購入を希望する。

～分野の研究において、参照・言及されることが多く、重要な資料であるため購入を希望する。



**注意!**  
対象外が  
あります

- ▶ 資格試験等のための受験参考書、問題集、ガイドブック、娯楽書、実用書、自己啓発書は対象外です。
- ▶ 小説等の文学作品については刊行点数が膨大であり、学習・研究に資するかを慎重に判断しています。
- ▶ 公共図書館の利用もご検討ください。近隣の千代田区立図書館は学生証で貸出カードが作成できます。

# 図書選定委員 お薦めの本



## 『大局観 自分と闘って負けない心』

羽生 善治 KADOKAWA/角川新書

学部図書 地下2階 796 : H113 : 2023



ご入学おめでとうございます。これからの人生で道に迷ったときに、少しでも指針になればという思いで、この本を紹介させていただきます。羽生善治の棋士生活25年を通して得た人生観を「大局観」としてまとめた書籍です。若いときの勝負に対する考え方や、経験を積んだ後の勝負に対する考え方の変化が興味深く書かれています。

大局観とは— 『体力や手を読む力は若い棋士のほうが上だが、「大局観」を使うと「いかに読まないか」の心境になる。将棋ではこの「大局観」が年齢を重ねるごとに強くなり進歩する。同時に熟練になり精神面でも強くなると六十歳、七十歳になって、この「大局観」は闘うための指針となる。～中略～ 自分の若い時代、「二十歳の自分」と戦っても負けない。～中略～ 棋士は四十歳、五十歳、それ以上になってもこの「大局観」は育っていく、というよりも育てていくのである。』

棋士の成長の話ではありますが、人生の歩み方についても大いなる教訓を与えてくれると思いませんか。われわれの人生は、さまざまな問題に直面し、大小さまざまな選択や判断を日々行っています。そのときに、まず重要なことは、俯瞰すること、つまり、より広い視野で全体像がどうなっているかを把握することです。そして、最終的に「こうなるのではないか」あるいは「こうなりたい」という仮の目的地をさだめ、そこに至るための一番自然な道筋を選択します。道筋の中には、一見近道に見えて途中から崖がそびえている道もあれば、長い坂道を一定のペースでゆく道もあります。また、遠回りですが途中で素敵な出会いや大きな成長につながりそうな道もあります。このように、問題の全体像を把握し、自分にとってよりよい道を選択するために「大局観」はとても大切です。

それではわれわれが「大局観」を養うにはどうしたらよいでしょうか。この本には多くのヒントがありますがいくつか抜粋します。

『泥臭く粘れるのは若さの特権』『好きなことに熱中する』まずは、どの道が正しいかわかりませんから、面白いと感じたら一時的にでも熱中し粘ることが大切です。著者は若い時は絶望的な局面でも投了せずに粘っていたそうです。『研鑽を積んだ者でなければ直感は働かない』『続けることは偉大な才能である』次に、この道が合っていると感じたら継続して研鑽を積むことが重要です。著者は多くの実戦を経験する中で考える材料が増えていき、直感の精度が上がっていったそうです。

多くの道からの選択や決断に関する考え方も味わい深いです。『選択肢が多いことは迷いにつながる』少ない可能性から一つを選択するよりもたくさんの可能性から一つを選択するほうが後悔しやすいですね。ときには合理的でなくても直感に従って後悔しない道を選択し、自信をもって決断することが大切です。『情報や知識はしばしば創造に干渉する』よりよい道筋を見つけるためには、過去に蓄積されたやり方や常識にとらわれず、勇気をもって新しい道を選択することも大切です。

最後に私の研究分野である人工知能との関連について触れておきたいと思います。人工知能は教師データを与えることで、過去と似た状況において教師データと同様のふるまいをさせることができます。しかしながら、人工知能が一度に考慮可能な状況の範囲には限界があり、未知の問題や抽象度の高い問題に対して適切な判断をするのはまだまだ難しいです。一方、人間は人生で直面するさまざまな未経験かつ高度な問題に対して「大局観」をもとに道を選択し判断することができます。この「大局観」をどう獲得するのが今後の人工知能の発展において重要になるのではないかと感じています。

応用データサイエンス学位プログラム  
准教授

深澤 佑介



叡智が世界をつなぐ



上智大学  
SOPHIA UNIVERSITY

上智大学図書館だより No.39

発行所 上智大学図書館  
〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1 TEL:03-3238-3510 FAX:03-3238-3139  
発行日 2024年4月1日  
制作 株式会社スリーライト TEL:03-5640-5430